

会 議 録

会 議 名	令和5年度第2回東松山市スポーツ推進審議会					
開 催 日 時	令和6年2月22日（木）			開 会	午後1時30分	
				閉 会	午後3時00分	
開 催 場 所	東松山市総合会館3階 302会議室					
会 議 次 第	1 開会 2 あいさつ 3 議事 第3期東松山市スポーツ推進計画（令和5年度）の進捗について 4 その他 5 閉会					
公開・非公開の別	公開		傍 聴 者 数	0人		
非公開の理由 （非公開の場合）						
委員出欠状況	会 長	森 浩 寿	出席	委 員	奥 野 清	出席
	委 員	河 野 喜 男	出席	委 員	鷺 巢 明 喜	出席
	委 員	木 阪 尚	出席	委 員	新 井 克 仁	出席
	委 員	田 中 透	出席	委 員	山 崎 秋 良	出席
	委 員	鈴 木 正 弘	出席	委 員	藤 野 香 織	欠席
	委 員	七 五 三 和 孝	出席	委 員	暮 松 靖 弘	出席
事 務 局	生涯学習部長 柳沢 知孝			スポーツ課長 山口 勉		
	スポーツ課副課長 小林 裕介			スポーツ課主査 長島 靖幸		
	スポーツ課主任 高橋 沙織					

次 第	顛 末
<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議 事</p>	<p>－進行 事務局山口課長－</p> <p>－森会長 あいさつ</p> <p>－事務局山口課長より委員の出席状況の報告。11名の委員が出席。 東松山市スポーツ推進審議会条例第6条第2項の規定による定足数に達しており、本日の審議会は成立していることの報告。</p> <p>－資料の確認－</p> <p>－森会長の進行に代わり、議事の進行。</p> <p>－議事録署名人として暮松委員、河野委員を指名。</p> <p>－会議は公開とする。</p> <p>－傍聴人はなし。</p> <p>「第2期東松山市スポーツ推進計画（令和5年度）の進捗について」</p> <p>－事務局より資料説明</p> <p>（森会長） 推進項目1について、何か意見はあるか。</p> <p>（山崎委員） 事業アンケートにて参加者から意見をもらっているのであれば、参考に審議会資料に載せてはどうか。</p> <p>（事務局） 事業によりアンケートは実施しているため、委員の意見を次回の資料作成の参考にさせていただく。</p> <p>（森会長） 今年度事業を実施してみて、担当課としてはいかがか。</p> <p>（事務局） スポーツ発見教室の参加が好調であり、今年度は教室数を増やすなど、前年度の事業の参加者からの意見や結果等を受けて事業を拡大した。 関係機関も事業を実施した結果、目標値を大幅に超える成果が出たのだと思う。</p> <p>（森会長） 資料の参加者数の記載はあるが、事業数も指標に書いてあるとわかりやすいのでは。</p> <p>（鷺巣委員） 指標1にて、2021年度から2022年度の数値が大幅に増えているが、要因は。</p>

(事務局)

2021年度の基準値となるアンケート調査時ではコロナ禍真ただ中であつたため、その辺りが影響し、2022年度の調査時である程度元に戻つてきたのが要因であると思う。

(河野委員)

2022年度の調査の年齢別の数字はあるか。近年、高齢者の健康意識が高まっているため、その辺りが影響しているのでは。

(事務局)

資料が手元になく、数字は分かりかねるが、調査は幅広い年代に均等に実施している。

(森会長)

桜山小に伺う用があつたが、休み時間に生徒が一斉に出てきた。聞けば外遊びを推奨しており、一度外に出てみよう、と意識付けをしているとのこと。コロナ後の取組みであろうが、いかに運動習慣を継続していくか、高めていくかが今後の課題になるのでは。

(田中委員)

駅伝大会は今年度より大幅にコースが変わつたが、参加者の声は。

(事務局)

賛否あり、路上に出たかつたという声もある一方、応援する側とすれば1箇所ですべての全走者の応援ができるため、良かったという声もある。

運営もコンパクトになり、概ね好評であつた。

(奥野委員)

各事業にて、年代別や性別を記載するなど、資料をもう少し具体的にしてもよいのでは。

(森会長)

他になれば、推進項目2の方ではいかがか。

指標3のウォーキング事業参加者数は増えているが、ウォーキングセンター事業に限ってみれば減少しているが、要因は。

(奥野委員)

高齢化に負けているというのが要因である。

埼玉県ウォーキング協会や歩こう会等、今までは60歳定年が入つてきていたが、近年は定年延長等にて70歳まで仕事をしている等、働き方が

変化してきており、スタッフ含めて高齢化している現状がある。

今後は根本的に考え方を換え、アプローチを変えていく必要があると思っている。今のままでは数字は下がる一方であると思う。

ウォーキングイベントにしても、コロナの状況から一カ所に集まるのもどうか、という風潮があり、近年では勝手に来てもらって勝手に歩いてもらうといった分散型のウォーキングイベントも見られる。

どう若い人達を入れていくかという視点も必要である。

(森会長)

日本と欧米とのスポーツをする環境で決定的に違うのは欧米では地域に拠点があることである。日本は学校を出ると途端に運動する機会が無くなっていく。

今後はスポーツの生活化、いかに生活に入っていくかが課題だと思う。

(河野委員)

ウォーキングコース等に付加価値が何かあれば良いと思う。

健康に関心のある若者を取り込めるのでは。

(奥野委員)

以前、スリーデーマーチの5kmコースでチェックポイントをお店にするという案もあった。寄り道をしながら、いつのまにか歩けたね、という仕掛けがあるのが理想。

今年度はドラマで話題の牧野富太郎をテーマにした展示など、ウォーカー以外にもウォーキングセンターに来てもらう取組を実施した。

今後もウォーキングの拠点となるウォーキングセンターに特定の人しか来ない施設ではなく、皆知っている施設としていくアプローチが必要である。

ウォーキングは何でも「ついで」が出来るため、歩くだけでなく、何かをする為に歩くといい工夫が今後必要と考えている。

(山崎委員)

奥野委員の分散型のイベントの話聞いて、特定の期間にチェックポイントをまわり回れたら何かもらえるといったイベントも良いのでは。

(森会長)

他に意見が無ければ、推進項目3の方はどうか。

(田中委員)

アリーナLED照明器具賃貸借は期間が10年とあるが、工事の進捗は。

(事務局)

リース期間が10年であり、交換工事は今年度完了している。

(森会長)

SNSの取組も多いが、市民からの反応は何かあるか。

(事務局)

SNS等の情報発信の取組として、昨年のWBCにおいてヌートバー選手の応援メッセージを掲示したところ、反応が大きく、それが記事になり一気にテレビ報道等メディア露出に繋がった事例があった。

その他、ホームページについても、アクセス数を見ると予想よりも多く閲覧されている印象であった。

情報発信の強化という面では一定の効果があったと感じている。

(七五三委員)

スポーツ施設の整備について、前回の審議会においても言及したが、小学校のサッカーゴールの設置について、学校側では使わないからと購入してくれず、父母会にて購入し設置をしたという現状がある。

(鷲巣委員)

小学校では確かに大きなサッカーゴールは使わない。

授業でサッカーをするかどうかは学校判断となるが、サッカーをやっている子であれば楽しめるが、やっていない子は楽しめない。大きいコートでは一度もボールを触らない生徒も出てしまうため、実施するとすればコートを細かく分けて実施をしている状況。

何か策があった方が良いとは思いますが、学校としては限られた予算のなかで、授業で使わない設備は買えないというのが現状である。

(七五三委員)

学校で土曜授業がなくなり、子ども達の活動の場としてスポーツ少年団をずっとボランティアでやってきているところ、父母会で学校側に設置の許可を受けてやる、それでいいのか、という思いはある。

(森会長)

部活動の地域移行の話も関連してくるが、道具や設備のあり方は今後の課題であると思う。

(山崎委員)

今年度を実施された工事の記載はあるが、今後の予定は。

(事務局)

次年度でいえば、中原テニスコートのフェンス改修、弓道場の増築設計

業務、リバーサイドパークマレットゴルフ場の再整備が挙げられる。

(森会長)

正代の運動場の工事等の予定は。

(事務局)

国の遊水地計画のヤードとしてあと数年は使われることが予定されているため、未定である。

(奥野委員)

ここには出てきていないが、先日の雪で沿道の竹や枝が道に倒伏し、ウォーキングコース上にも見られた状況。コース上は安全に歩けることが前提なので、そうした修繕等についての体制づくりをしていただきたい。

また、令和元年台風を受けての堤防工事等があちこちで本格化している。

コースに影響があるものもあり、そのあたりの安全対策についても広報しなくてはならないと考えているが、そうした情報を速やかに提供し、コース変更なりを速やかに行えるような体制づくりについてもお願いしたい。

(事務局)

関係部署等との情報共有を密に行い、対応したいと考えている。

(森会長)

計画策定時に、案内板は古く更新が必要であるという意見があったところ、良くなったところもあると実感しているが、市として老朽化したものは都度か、それとも定期的に変えていくのか、考えはあるか。

(事務局)

市内のコースにおいて、立派な道標でまだ暫くは修繕が不要なものがある一方で、修繕が必要な道標もある。

できれば一括して直したいというのが担当課での希望だが、そこまでの予算確保が難しいため、緊急的な修繕に留まっている。

(森会長)

利用する側からの情報提供も必要であると思う。

(河野委員)

災害対応はどこの部署が担うのか。

(事務局)

公道を中心に建設部局が随時パトロールを実施し、必要があれば応急修繕等を行う。また、ウォーキングコース上で言えば歩く人からの情報提供

<p>4 そ の 他</p> <p>5 閉 会</p>	<p>によりウォーキングセンターを通じて把握し、対応を依頼するケースもあり、そこまで時間をおかずに把握、復旧はできている。</p> <p>(奥野委員)</p> <p>ウォーキングセンターとして、本来であればウォーカーから情報を受けるのではなく、情報を与えるのが施設の役割であると思うので、そのあたりもよろしくお願ひしたい。</p> <p>(森会長)</p> <p>推進項目 1、2、3 と見てきたが、改めて何か意見はあるか。</p> <p>無いようであれば議題は以上とする。</p> <p>－事務局より事務連絡</p> <p>－柳沢部長より閉会の言葉</p>
-----------------------------	---

上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。

令和 6 年 2 月 2 9 日

署名委員 河野 喜男

署名委員 暮松 靖弘